



震災時の空間線量率が
相対的に高かった地域
から順に実施

●本格検査2回目（先行検査から通算3回目）

2016年度一次検査実施市町村（25市町村）

2017年度一次検査実施市町村（34市町村）

●本格検査3回目（先行検査から通算4回目）

（18歳以下の対象者）

2018年度一次検査実施市町村（25市町村）

2019年度一次検査実施市町村（34市町村）

第36回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

甲状腺検査は、東京電力福島第一原子力発電所事故時に、空間線量率の高かった地域から順に実施されました。

2回目の検査となる本格検査以降も、ほぼ同様の順序で検査のご案内をしています。

本格検査3回目（検査4回目）からは、18歳以下の方には従来通りの順に実施しておりますが、19歳以上の方には地域別ではなく年齢（学年）ごとの実施とし、2018年度には1996年度（22歳）及び1998年度生まれの方（20歳）に、また2019年度には1997年度（22歳）及び1999年度生まれの方（20歳）に検査を実施しております。

また、2017年度以降は、25歳になる年度に検査を行い、それ以降は5年ごとの検査となります。

本資料への収録日：2015年3月31日

改訂日：2019年3月31日